

大垣日大高1年、柔道の吉田君

全日本73キ級V、国体へ弾み



大垣市の大垣日大高校一年吉田博平君（右）が、全日本カデ柔道体重別選手権大会の73キ級で優勝した。ぎふ清流団体の候補選手にも選ばれており、「挑戦する気持ちをお忘れず、出場するために日々頑張りたい」と意気まんまんでいる。（志村拓）

市長に報告、がっちり握手

カデは十五・十六歳の全国中学校柔道大会も二位に入り、出場権を対象したクラス。大八級の選手が出場。吉を得ていた。会は八日に大阪府門真。田君は同大会直前に右「体調が万全なら大市で開かれ、昨年八月「手中指を骨折しながら「丈夫」と雪辱を期した

小川市長に全日本大会優勝を報告する吉田博平君
大垣市役所で

大会で、吉田君は持ち味の前に出て攻める柔道」を徹底。一本勝ち。おは払い腰を決めた準決勝だけだったが、決勝でも技差を付け続けて相手を圧倒。優勝勝ちを収めた。

世界選手権で準優勝した同校OBの大熊政彦さん（右）「柔道部男子監督」にあこがれ、昨年インターハイで十六歳入りした強豪の門をたたいた。大熊監と握手を交わした。監督も「負けん気が強くと握手を交わした。

く、伸びしろは十分。日本一や世界の舞台を目指せる選手」と将来性に期待を寄せる。

二十四日には、市役所を訪れて小川敏市長らに優勝を報告。小川市長から「将来が楽しみ。国体や五輪を目指して活躍してほしい」と